

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年3月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年3月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは[月報](#)をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の新車販売の合計は39.0台で、前年同月と比べると11台増の139.3%である。春需の始まりである3月の対前年同月は平成20年から3年連続で減少となっていたが、本月はホーム車の161.0%など各車種で前年同月より大幅に上回った。この高需要は東日本大震災の影響が大きい。また、中古車においても前年同月を上回っている。

車種の構成比をみると、この時期はシティ車・ホーム車の割合が高くなるが、特にホーム車の占める割合が40.3%と高い。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは東日本大震災の影響が地域により分かれた。被災地及びその地域に近い北海道・東北、北関東、南関東地域からのコメントは、「震災特需」(宮城)、「交通網がマヒし、ガソリンも思うように入手できない間、自転車が本当に役立ち、街の自転車屋は生きている」(宮城)、「燃料不足による一時的な売上増の商況」(福島)、「在庫車はほとんど販売」(福島)、「朝9時から夕方5時まで客足が途切れず、コンビニのように品物を持って並んでいる」(茨城)、「3月11日の災害直後から通勤用の足として注文が殺到し、陳列した婦人車、スポーツ車が完売」(東京)、「震災後も購買は好調」(東京)などがあった。その他の地域からは震災特需ではなく、「メーカーの在庫がない」(石川)、「震災、原発事故で今後の消費動向の低下が気になる」(大分)など先行きを心配する声もあった。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成23年3月)

[単位：台 構成比：%]

| 車種別 | 本月 | | 前月 | | 前月比 | 前年同月 | | 前年同月比 |
|----------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| | 台数 | 構成比 | 台数 | 構成比 | | 台数 | 構成比 | |
| シティ車 | 13.5 | 32.2 | 5.7 | 35.6 | 236.8 | 11.2 | 37.2 | 120.5 |
| ホーム車 | 16.9 | 40.3 | 5.1 | 31.9 | 331.4 | 10.5 | 34.9 | 161.0 |
| 折りたたみ車 | 1.1 | 2.6 | 0.3 | 1.9 | 366.7 | 0.6 | 2.0 | 183.3 |
| 子供車 | 1.3 | 3.1 | 0.6 | 3.8 | 216.7 | 1.3 | 4.3 | 100.0 |
| 幼児車 | 0.6 | 1.4 | 0.3 | 1.9 | 200.0 | 0.4 | 1.3 | 150.0 |
| マウンテンバイク | 0.9 | 2.1 | 0.5 | 3.1 | 180.0 | 0.7 | 2.3 | 128.6 |
| スポーツ車 | 2.6 | 6.2 | 1.3 | 8.1 | 200.0 | 2.0 | 6.6 | 130.0 |
| 電動アシスト車 | 2.0 | 4.8 | 1.0 | 6.3 | 200.0 | 1.4 | 4.7 | 142.9 |
| 合計 | 39.0 | 93.1 | 14.7 | 91.9 | 265.3 | 28.0 | 93.0 | 139.3 |
| 中古車 | 2.9 | 6.9 | 1.3 | 8.1 | 223.1 | 2.1 | 7.0 | 138.1 |
| 総合計 | 41.9 | 100.0 | 16.0 | 100.0 | 261.9 | 30.1 | 100.0 | 139.2 |
| モーターバイク | 0.7 | 1.7 | 0.4 | 2.4 | 175.0 | 0.6 | 2.0 | 116.7 |

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。